

体となって支援することにより、母校の存在感を一層高めることが出来るものと思います。

会員の皆様には、平成二十八年度同窓会活動の充実に、ご理解とご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

〈平成二十七年事業報告〉

去る十一月二十八日(土)、隔年実施の静岡県同窓会総会を浜松日体高校で開催しました。総会後に「なでしこジャパンの選手を育てた指導及び育成方法について」と題したスポーツ講演会を開催しました。講師にはなでしこジャパンの川澄選手、近賀選手、丸山選手を育てた日本体育大学の矢野晴之介准教授をお迎えしました。参加者は浜松市及び近隣市町の小中高サッカー選手及び指導者約三〇〇名と盛況でした。

東部地区だより



東部地区長
静岡県立富士特別支援学校
山田 整 (昭54卒)

平成二十六年より東部地区長を二年間務めさせて頂きました。東部地区の同窓会活動の活性化は急務だと考え、地区組織の強化、卒業生の入会、企業会や活動の充実を目指して会の運営を行ってまいりました。まず、組織の把握を進めていきたい

と思います、まだ不十分ではありますが、東部各地区の名簿の作成に取り組んでまいりました。

また、富士市、富士宮市で行われた第三回富士山女子駅伝(全日本大学女子駅伝競走)では、多くの同窓生が競技役員として運営に協力してくれました。沿道にはたくさんの方々が応援の成果か総合五位と健闘を見せられ日体大の声が響いていました。

平成二十九年度は、東部地区で静岡県同窓生総会とスポーツ講演会を開催する予定です。東部地区の同窓生の皆さんにはお集まりいただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

来年度からは、地区長を鈴木幸さん(小山中学校)に、副地区長を朝倉和也さん(裾野市教育委員会)にお願いしました。地区長は変わりますが、これからも同窓会活動への協力をさせて頂きたいと思ひます。「元気で行く日体大」

今、自分に出来ること



中部地区長
静岡市立中田小学校
櫻田 人土 (昭55卒)

中部地区長を拝命して、四代の会長のもとで仕事をさせて頂いてまいります。諸先輩方のご指導や役員のご

ご協力により地区の活動が順調に進めていけるように全力で取り組んでいるところですが、同窓生の動向がなかなかつかむことができず、各支部とも会費納入率の低下、同窓会活動への敬遠など課題がまだまだ山積しておりますが、日体大同窓生としての太い絆と誇りを信じ、一層努力をしていきたいと思ひます。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

四月十四日、熊本県を中心とした震度7の大地震の発生から、二週間が経とうとしています。未だに震度3クラスの余震が続き、避難所や車での避難生活を余儀なくされております。これまでに死者が四十九名、震災関連死での死者も十二人にも上り、負傷者も三千人を超えていると言われます。日常生活に戻るまでにはまだまだのようです。被災された方たちにとってはゴールが見えず、不安と疲労だけが蓄積され、ストレスも極限状態まで達しているのではないのでしょうか。

そのような中で、小学生・中学生・高校生が避難所で、ボランティア活動に懸命に取り組んでいる様子がテレビ画面に映し出されました。きつと勉強もしたいでしょう。友達と喋ったり、遊んだりしたいでしょう。それができない現実を受け止め、お菓子の配給を近くの住民に広報したり、トイレで流す水をプールまで何

回も汲みに行ったり、炊き出しの手伝いをしたり、「今、自分たちができること」に懸命に取り組んでいる姿に胸が熱くなりました。

各学校は授業再開を、そして国が主導して復興作業に着手し、被災された方々が、一刻も早く当たり前の日常生活を取り戻すことをお祈りします。

熊本県で被災された同窓生の皆様には「団結・和協」の精神でこの難局を乗り越えて欲しいと願わずにはいられません。

同窓会に感謝!



西部地区長
齋藤 健二 (昭48卒)

日本体育大学実技発表会が平成十七年エコパアリーナにおいて、盛大に開催されました。静岡県内の同窓生はもちろんのこと、多くの県民が迫力ある演技や集団の美に酔いしれ、日本体育大学の神髄を目の当たりにすることができました。

このような記念すべき時期に西部地区の地区長を務めさせて頂きました。あれから早いもので十年が経ちました。私自身ここで一区切りをつけていただきます。この間、多くの方々に支えられ充実した同窓会活動をさせて頂きました。西部地区は二十八年度から新体制でスタート